

埼玉県立 川の博物館 紀要 Bulletin and Reports 投稿規程

1. 「紀要 Bulletin and Reports (埼玉県立 川の博物館)」は、荒川流域を中心とした地域の民俗・歴史・自然科学・産業および博物館活動などに関する研究成果を掲載し、学術と文化の発展または博物館活動の充実に寄与することを目的として発行する。この趣旨に合致し、下記の投稿規程に沿う論文・資料などを掲載する。
2. 投稿者は、埼玉県立 川の博物館・埼玉県立 自然の博物館の職員および当館の関係者が認めた者とする。
3. 原稿は未発表のもので、写真・図版そのほかを転載して使用する場合は、投稿者がその許諾などの手続きを完了していることを投稿の条件とする。
4. 提出された原稿について、編集者による校閲を行う。ただし、専門家による審査（査読）は実施しない。
5. 執筆者校正は2校までとし、それ以降の校正は編集者に一任する。
6. 送付された原稿・図版類は原則として返却しない。
7. 紀要は発行後、当館のホームページ上に PDF 原稿として公開することを執筆者は承諾すること。また、当紀要に掲載された論文の著作権は埼玉県立 川の博物館に帰属する。
8. 投稿原稿の執筆謝礼は支払わない。また、原則として本誌 1 冊を各執筆者（共著者も含む）に送付する。それ以上を希望する場合は、要相談とする。なお、別刷り（50 部程度）を希望する場合は、著者負担での発行とする。
9. 刊行は各年度 1 回、原則として 3 月末日に刊行する。
10. 言語は日本語または英語とする。

原稿要項

1. 投稿の方法

投稿希望者は、投稿前に「投稿カード」を期日までに編集担当者に提出する。

投稿する原稿は投稿規定に則ったものとし、提出後に編集者および当館の職員による掲載の可否を決定する。ただし、投稿カードが提出されていても、初稿が期日までに提出されない場合は、当該号への掲載を見送ることとする。

2. 校閲と修正

編集者および当館の職員による校閲を経た原稿は、修正を求めて著者へ返却される場合がある。著者は指摘された箇所を修正し、期日までに再提出する。修正が必要ないと判断される場合は、その理由を付して再提出する。修正稿が期日までに再提出されない場合は、当該号への掲載を見送ることとする。

3. 論文の構成

題名（英題および英文要約）、著者（および所属）、本文、謝辞、註釈、引用文献とする。

4. 原稿の様式と枚数

原稿枚数は、図表を含め基本的に2ページから12ページまでとする。A4版で、1ページの最大文字掲載数は横書き20字×46行×2段組（1840字）である。内容によっては縦書き2段組みも可である。本文のフォント形式はMS明朝、文字サイズは10.5ポイントとする。英数字は半角、和文は句読点（。および、）、英文は半角カンマ（,）とピリオド（.）を使用する。表題および図表のキャプションのフォント形式および文字サイズは編集者の任意とする。

原稿は、基本的にWordファイルとする。図表はExcelファイルやPowerPointを使用し作成する。画像はpng.あるいはjpg.ファイルとし、製版に耐えうる画質のものとする。また、原図表の元データは、原稿と併せて提出する。

5. 註釈および引用文献の様式

1) 註釈は、該当箇所の右肩に^(註1)・・・のように註見出しとして通し番号を記し、一括して末尾の註釈に記載する。2行以上にわたる場合、2行目は一字分（和文活字相当）下げて書く。

2) 引用文献

a. 論文中で引用した文献は全て「引用文献」に下記の表記例に準じて掲げる。

b. 論文中では、文献の著者が2名の場合は本文中で並列する。3名以上の場合、○○ほか、あるいはet al.を使用する（et al.は正体で表記する）。

c. 論文中に、同一のカッコ内で複数の引用を挙げる場合は、セミコロン（;）を用いて区切り、年代が早いものから順に表記する。

d. 引用文献のリストは、和文・英文を問わず著者ら（筆頭著者および共著者）の氏名によってアルファベット順に配列する。筆頭著者および共著者が全く同じ文献が複数ある場合は、年代順に早いものから順に、出版年が同じ年代のものは1996a, 1996b, 1996c,・・・のように示す。

e. 2行以上にわたる場合、2行目は一字分（和文活字相当）下げて書く。

f. 引用文献の句読点は、和文であれば全角のカンマ（,）とピリオド（.）を使用する。英文であれば半角のカンマおよびピリオドを用いる。

g. ページ範囲はEn Darsh（-）でつなぐ。

h. 表記例

① 本文中

斉藤（1990）によると…

Nakae & Matsui（1986）によると…

Takanse et al. (2005) は…

先行研究（大山ほか，1990；中村・鈴木，1991；Brown & Thomas, 2020）では…

② 引用文献

・研究雑誌や紀要の論文

著者名、出版年、表題、掲載雑誌名、巻数：掲載ページの順とする。

・書籍

著者名、出版年、表題、出版社の順とする。編集書の場合は、編集者名および（編）を追加する。翻訳書の場合は、原著者名、原書の出版年、表題、原書の

出版社、(訳者名(訳)、訳書の出版年、訳書の表題、訳書の出版社)の順とする。書籍の一部を引用する場合は、掲載ページを表題の後に追加する(連続する複数のページを示す場合は pp.、特定の 1 ページを示す場合は p.を用いる)。書籍の総ページ数、出版社の所在地は表記しない。

- ・オンラインでの電子資料 (PDF ファイル)
著者の氏名あるいは団体名、題名、URL、閲覧年月日の順とする。

例)

藤田宏之, 石井克彦 (2010) 埼玉県立川の博物館周辺の両生類相. 埼玉県立川の博物館 紀要 10 : 1-4.

糸魚川淳二 (1993) 日本の自然史博物館. 東京大学出版会.

福田一郎 (1982) エンレイソウ. 恒脇恒一郎 (編) 植物遺伝学実験法 遺伝学実験法講座 (4). pp. 321-328. 共立出版.

環境省 (2024) 特定外来生物等一覧. <https://www.env.go.jp/nature/intro/2outline/list.html> (2026年1月24日閲覧)

Rosenwein B.H. & Cristiani R. (2018) What is the history of emotions? Polity Press (伊東剛史, 森田直子, 小田原琳, 館 葉月 (訳) (2021) 感情史とは何か. 岩波書店.)

Hopkins G.H.E. (1954) Notes on some *Mallophaga* from bears. *The Entomologist* 87: 140-146.

Fan Q., Cheng Z.Y., Xie L.Y., Yang Z.L., Shen P.H., & Wang Y.B. (2024) Molecular phylogeny and morphology of *Sporodiniella sinensis* sp. nov. (Syzygitaceae, Mucorales), an invertebrate-associated species from Yunnan, China. *International Journal of Systematic and Evolutionary Microbiology* 74: 006315.

Vinokurov N.N. (1988) Family Lygaeidae. In: Lehr P.A. (ed), *Keys to the insects of the Far East of the USSR, vol.2: Homoptera and Heteroptera*. pp. 883-902, Nauka Publishing House.

6. 図・写真・表の扱い

- 図・写真・表には、本文中での引用順に通し番号を付与する。

例) 図 1., 表 1., 写真 1.

- それぞれにキャプションを付ける。図キャプションの配置は図に対して下部左揃え、表キャプションは表の上部左揃えとし、図表の説明は下部左揃えで配置する。
- 希望のレイアウトがある場合は、挿入する図表の番号と箇所を原稿中に明示するか、あらかじめ図表を挿入した原稿データを提出する。

問合せ先

埼玉県立 川の博物館 学芸グループ
〒369-1217 埼玉県大里郡寄居町小園 39
TEL: 048-581-8739 FAX: 048-581-7332
E-mail: web-master@river-museum.jp